

BE A VOICE



STARTING OVER
僕らの大きいなる旅が
また始まる。

LIVE

高橋 優 LIVE TOUR 2018-2019
「STARTING OVER」

12.22 SAT
福岡国際センター

高橋 優

11

No.474 November 2018
The music magazine
that charms you.

INTERVIEW

沖仁

スペイン音楽に脈々と息づくフラメンコを呼び覚ます
—ルーツに迫り未来を見出した、珠玉の作品集発表。

Homecomings

海の底のクジラの棲み家から届く歌たち。
—ホムカミが3rdアルバムで挑んだもの。

JAPAHARINET／アクメ

LIVE REPORT

小坂忠 Chu's 70th Session

日本のソウル・レジェンド、健在す。
50有余年の音楽人生の果実を味わい尽くした夜。



NOVEMBER 2018 | 11 »

| TOPICS |

**紗香**

今年で8回目を迎えるJR博多シティの冬の風物詩「光の街・博多」。美しく輝くイルミネーションの点灯式に紗香が登場。幻想的な光の街へと生まれ変わる瞬間を、紗香の温かく優しい歌声と共にお届けします。

>11/8(木)JR博多駅前広場

**在日ファンク**

11/21に5thアルバム『再会』をリリース! サイトウ"JxJx"ジョン(YSIG)、高橋マコイチ(思い出野郎Aチーム)が参加。リリースを記念しワンマンツアー決定! ファンクの勢いはとまらない!

>11/12(土)FUKUOKA BEAT STATION

**ZAZEN BOYS**

"TOUR MATSURI SESSION"が12月に開催される。毎度、満足度ハンパなし! と言われるこの MATSURI SESSION。向井が仕掛けた"祭り"という言葉の意味が今回も爆裂すること必至!

>12/7(金)DRUM LOGOS

**THE CHARM PARK**

英語と日本詞をブレンドした独自の世界観を築く"新世代ポップマエストロ"Charm(チャーム)によるソロユニット。12/5発売のメジャー1stアルバムをもって、自身初の5大都市ツアーを決行。

>12/10(日)ROOMS

**MONGOL800**

20周年ツアーアー第2弾はホールで開催!"モンバチハタチ"を振り返るこのツアーは全タイトルの中から、様々な楽曲をセレクト♪モンバチ20年…そしてその先へ…テーマは「Life is peaceful」!

>12/24(木)鳥栖市民文化会館[佐賀]

**伊勢正三**

ライヴ会場限定CD『伊勢正三LIVE BEST～風が聴こえる～風LIVE Vintage-SPECIAL EDITION』が通販決定!もちろん会場にはこの他にもファン垂涎のグッズが…これはもう行くしかない!

>12/29(火)ユーニティのおがた大ホール

**DYGL**

海外でも精力的に活動するDYGL。東京公演はすでにソールドアウトだが、福岡・札幌公演が追加開催されることが決定した。ストレートなガレージ・ロック、パンク・サウンドに痺れること間違いない!

>12/27(木)FUKUOKA BEAT STATION

**三浦大知**

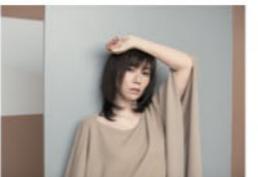
現在開催中の全国ツアーの追加公演が決定! マリンメッセ福岡での単独ライブは初! 力強いエンターテインメントステージでオーディエンスを魅了する三浦大知のアリーナ公演は迫力も期待度もMAXXX!

>12/7(木)マリンメッセ福岡

**OH MY GIRL**

'15年4月韓国デビューの7人組Kpop Girls Group。韓国では8枚のCDをリリース。'19年1月に待望の日本デビュー&ツアーが決定。完成度の高い音楽とパフォーマンスに注目してほしい。

>1/4(金)都久志会館

**柴田淳**

約6年ぶりの全国ツアー"月夜PARTY vol.5～お久しぶりっ子、6年ぶりっ子～"が開催決定! 10/31発売の12thアルバム『プライニクル』の初回限定盤には32Pの豪華フォトブックが!

>2/8(金)福岡市民会館

**青葉市子**

執筆をはじめ、多岐にわたり活躍中の青葉市子。6枚目のアルバム『qp』を10/24にリリース。そして全国24カ所を回る"ichiko aoba qp tour 2018-2019"の最終公演は福岡。

>2/16(土)日本福音ルーテル博多教会

**NEIGHBORS COMPLAIN**

新世代セルフ・コントインド・バンド。11/21に新EP『Gotcha Feelin' / In Our Life Steps』をリリース! 19月の中洲ジャズに続き、どんなライヴを見せてくれるのか!

>2/23(土)DRUM Be-1

<<<<< BEGIN

待ちに待ったBEGIN、3年ぶりのニュー・アルバム『Potluck Songs』が12/12に発売決定! そして、このアルバムをひっさげての"第23回 BEGINコンサートツアー 2019"の開催も決定しました! 1/14(月・祝)兵庫を皮切りに全国16カ所17公演、BEGINが皆さんの近くへやってきます! ぜひこの機会に待望のニュー・アルバムを聴き込んで、BEGINの生演奏を、歌声を、肌で感じてみて。きっと忘れない出来事になること、間違いないです。

>2/7(木)日向市文化交流センター【宮崎】

>2/9(土)市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)

>2/10(日)福岡サンパレスホテル&ホール

PAELLAS
12月9日(日)福岡Kieth Flack**爆弾ジョニー**
2018「リリース?TOUR」
11月14日(水)福岡the voodoo lounge**根本要/佐橋佳幸**
「本日のおすすめ!TOUR 2018~19」
11月25日(日)福岡都久志会館**夜の本気ダンス**
11月26日(月)鹿児島SRホール
11月27日(火)熊本B.9 V2
11月29日(木)長崎DRUM Be-7**BAND-MAID**
11月30日(金)福岡DRUM LOGOS
12月1日(土)熊本B.9 V1**ヒステリックパンク**
12月7日(金)福岡DRUM Be-1**大橋トリオ**
hashiTrio HALL TOUR 20194月12日(金)
福岡市民会館5月25日(土)
熊本県立劇場演劇ホール6月2日(日)
かごしま県民交流センター県民ホール6月9日(日)
長崎ときつカナリーホール**四星球**
四星中学校ツアーア「四星中学校運動会」
11月24日(土)FUKUOKA BEAT STATION**SUSHIBOYS**
12月14日(金)福岡graf**KAN**
CLOCKWORK IMMORTALITY TOUR
2月10日(日)福岡DRUM SON

出演:KAN(Pianoforte,Vocals) / 宮原光一郎(Violin) / 湯本友美(Violin) / 鳥居鏡子(Vocal) / 鳥見真圭(Vioboncello) / ゲスト:和田唱(TRICERATOPS)

11月24日(土)福岡都久志会館

**ZIGGY**
TOUR2018 ROCK SHOW
12月22日(土)熊本B.9 V2
12月23日(日)福岡DRUM Be-1**谷山浩子**
1月23日(金祝)・24日(土)・25日(日)
福岡ROOMS

1月5日(土)福岡市立中央市民センター

↓ more / info www.bea-net.com BEA

高橋 優

STARTING OVER 僕らの大きいなる旅が また始まる。

取材／文：なかしまさおり



PROFILE

シンガーソングライター。'83年12月26日生まれ。秋田県横手市出身。'08年、活動の拠点を札幌から東京に移す。'10年7月にはシングル「素晴らしき日常」でメジャー・デビューし、現在までに20枚のシングルと5枚のアルバム、1枚のベスト・アルバムをリリースしている。最新アルバム『STARTING OVER』では、ジャケット写真をリリー・フランキーが担当。収録曲の『aquarium』は今年10月にスタートしたドラマ『結婚相手は抽選で』(TNCにて毎週土曜23:40~)の主題歌としてOA中。また最新シングル「ありがとう」は映画『パパはわるものチャンピオン』(主演・棚橋弘至／九州主要映画館での上映は終了。残すは12/8~21、福岡・大川シネマホールにて)の主題歌になっているので、合わせてチェックしてみてほしい。

<https://www.takahashiyu.com/>

LIVE 高橋 優 LIVE TOUR 2018-2019
『STARTING OVER』
12/22(土)
福岡国際センター

※詳しくはBEANETをご覧下さい。

New Album
『STARTING OVER』
10.24 ON SALE ワーナーミュージック



期間生産限定盤
CD+DVD (LIVE TOUR 2017-2018『ROAD MOVIE』
バシフィコ横浜 2018.3.30) ¥5,940(tax in)
数量限定盤
CD+LPサイズBOX+LPサイズフォトブック
『TOKYO 10Years』 ¥4,860(tax in)
通常盤
CD ¥3,240(tax in)

CD収録曲
1. 美しい鳥 7. aquarium 13. leftovers
2. ストローマン 8. ありがとう 14. 凡の花束
3. シンプル 9. Harazie!! 15. STARTING OVER
4. 虹 10. ルボルタージュ 16. プライド
5. 若気の至り 11. キャッチボール
6. いいひと 12. ロードムービー

前作『来し方行く末』から約2年振り。10月24日には最新オリジナル・アルバム『STARTING OVER』をリリースした高橋 優。本作には、実際の現場に足を運んで白球を追う球児の姿に想いを重ねた『虹』をはじめ、『シンプル』『ありがとう』など、'17年以降に発表したすべてのシングル・タイトル曲のほか、「即興的に作って、即興的にレコード・イングした』『leftovers』やJ-Bもビックリのディープな秋田弁ファンク『Iwara Zell!』、あるいは80年代テイスト満載のインスト・アレンジに意表を突かれる『キャッチボール』など、オリジナル盤としては過去最大となる全16曲が収録されている。

だが、このボリュームにして、決して聴き飽きることのない濃度と熱量。前作を遥かに凌ぐ、魂のほとばしり、が聴き手の心に、いくつもの強烈な『沁み』を焼き付けていく。そもそも「制作開始の段階から16曲は入れたい」という思いがあった』といふ今回のアルバム。ただ、だからと書くと、『おまけが数言つて『シングル6曲、おまけが数曲、みたいなアルバムにだけは、絶対にいたくなないとと思っていた』。とくに「今回は自分で曲作り期間というのを設けて、そのほとんどを自宅の部屋にこもる形で作りあげていった』一枚。「インディーズのファースト・アルバムを出すときみたいな初心的な気持ちワクワクした気持ち持

ちに終始包まれて、楽しく曲作りをしていった』と振り返る。

もちろん、一集団で一人を指さし

咎める構図』の『ストローマン』や、自虐的な描写でユーモラスに本音を吐きまくる『いいひと』など、いかにも高橋 優らしいナンバーは、今作にも健在。その上で『この曲にもそれぞれの濃厚さがあり、また、アルバム全体を通して聴いても面白いと思える』最高のアルバムができたと目を輝かせる。

中でも、それらの背骨となつたで

あるういくつかの曲。例えば、オープニングを飾る『美しい鳥』では、目の前に広がる感動よりも実感のない数字に『喜』憂する社会を軽やかに皮肉つてみせる。

「周囲が評価していることと自分

が感動するものが、必ずしも同じであるとは限らない。だからといって、周囲に合わせて自分の感動が制限されてしまつては、なんだか淋しい気がします。美味しいご飯。楽しい遊び。安らげる場所。匂い。景色。流行ってても流行つてなくてもいい。金になつてもならないともいい。人と一緒にでも、そうじゃなくともいい。あなたの心が本当に高ぶるものつて、なんですか?」

実は、そんな問い合わせがある。アルバム真ん中辺りで聴こえてくる『10年前

いましたか?また10年後、どんな自分

になっていますか?この2つの問

いに、どう答えられるかを自分自身で考えながら書いた』という『aqua riun』を挟んで、最終的には、高橋

自身がそれになり誰かを照らせるつ

てことさ』(まだやれるのにチキ

ショーと叫ぶ君が主役の『明日を

さあ始めよう』)と歌う『プライド』の曲そのものこそが、答えとなつて

いるのではないかと思えてくるか

ら、本当に、高橋 優の歌つてやつは

面白い。しかも、ラストに置かれた

『STARTING OVER』『プライド』

という、この2曲。それを『美しい

鳥』とセツで聴けば、なおさら、な

ぜ高橋 優が今、このタイミングで

再出発／新たなる旅立ち。という

ニュアンスをアルバム・タイトルに込

め、歌おうと思ったのか?その理由

が、自ずと見えてくるような気がしてならない。

というのも、「普段の生活の中で

感じじる、音楽の力とその凄さ」。そ

れを改めて感じることで、あるいは、

強く信じることで、次なる一步を踏み

出すような曲が書きたい』と思って

書かれた『STARTING OVER』。そこには、(アーティメジャーセカンド

の『シンディングテーマ』としても象徴

的に流れる)『プライド』に通じる

不屈の精神、言い換えれば、高橋

優ならではの、決して現状には満足

しない』といった、飽くなき反骨精神。が、音楽の持つ無限の可能性。

とともに、力強く鳴らされている。

もうダメって時ほど、心を揺さぶる

う』(何度もまた走りだせ)。そうし

た言葉は、おそらく、自分自身に対

お願いします!」。

「いつの間にか、『ROAD MOVIE』で、『LIVE HOUSE EDITION』と題した沖縄公演を含む全国18カ所、22公演を予定している。前回のツアーでは、福岡での滞在時間が一番長かったとMCでも話していたが、『実はその滞在中に食べた博多うどんに、すっかり魅了されてしまいました。今回のツアーでもまた、是非でも食べたい』と思っているので、そこは楽しみです(笑)。もちろん、それ以上に今回のアルバムは、皆さんと一緒にライブでブチ上がる。シン

ンをイメージをしながら作った曲ばかりなので、そこは是非とも楽しんで聞いて下さい。では皆さん、ツアーエンターナメントで、お会いしましよう!よろしくお願いします!」。

<秋田CARAVAN MUSIC FES>

『地元の秋田県を音楽で盛り上げたい』との想いでスタートさせた高橋 優主催の音楽フェスティバル。6年から毎年、秋田県内を巡回しつつ開催中で、3年目となった今年は仙北市・田沢湖生保内公園野球場にて開催。2日間で延べ16,000人を動員し、その評判を全国へと広げつつある。ちなみにライヴ定番曲に秋田弁を交えた『泣く子はいねが』という曲があるが、今回のアルバムでは、さらに難易度を上げた秋田弁のオンパレードで『Harazie!!』を収録。自分で訳しての取材だったが(アルバムブックレットには標準語訳載もあり)、秋田弁への興味が一気に高まり面白かった。もちろん、サウンドとしても新たな魅力を開花させている曲なので、ライヴでは是非、ネイティヴばりの発音で叫んで会場全体で盛り上がりたい。

沖仁

スペイン音楽に脈々と息づくフラメンコを呼び覚ます
——ルーツに迫り未来を見出した、珠玉の作品集発表。

取材／文・山崎聰美



LIVE!
沖仁 CONCERT TOUR 2018
12.15(土)
福岡電気ビルみらいホール

New Album
Spain

ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
10.31 ON SALE

日本スペイン外交関係樹立150周年を記念し、スペイン縁の代表的楽曲をカヴァー収録した作品集『Spain』を発表した沖仁。昨年デビュー15周年を迎え、もっと遡れば20年以上の年月をフラメンコギターと共に歩んできた。発祥の地であるandalusiaとも長く親しんできたが、意外にも「スペイン音楽」というものとしつかり向き合つたのは初めてだった」と云う。

「いろんな発見がありましたね。これまで自分のやり方では成り立たない、じやあどうするかと試行錯誤も随分して。(収録曲は)元々がクラシックとかポップスとかフラメンコの曲ぢやない曲ばかりで、ソロ楽器としてフラメンコギターが、その楽曲や他の楽器にどこまで対峙できるのか……」
か：フラメンコギターならではの表現が、自然にできるのかってところにはすごく真摯

に向き合つたつもりです。で、やつと、自分なりの答えとして世に問うことができます。なんじゃないかってところまで持つていけて、結果として新境地に踏み込んで行くような感じになりました」。

今作の驚きは、フラメンコギターを唯一の武器としながら、そのフィーリングだけに頼らず、楽曲そのものの詩情を豊かに表現し且つその背景を偲ばせるように思素的であるところだ。過程では譜面に込められた作曲者の意図を読み探つたり、数多残されている過去の録音物を聴いたりといった作業も。

「そこで得たことで大きかったのは、やっぱりスペイン音楽なのでどんなジャンルの楽曲でもどこかフラメンコを意識して作ってきた彼らが今作で踏み切ったのは、以前から興味があったという日本語詞によるアルバム制作『SYMPHONY』(17年EP)」といふ自分がやるうちに見えてきたこと。だつたら僕は、それをとっかかりに

広げていて。寧ろ、作曲者が本当はイメージしていたけどクラシックの人だと表現できない領域、フラメンコギタリストだからこそできる領域があると思ったんだ。特にリズムに関して。そこは、作曲者に聴かせたい気持ちもちょっとありますね：僕の解釈を面白がってもらえるかなって(笑)」。

制作の中で「1歳上の兄が毎日隣で練習していたクラシックギターのレパートリーは、今思えばスペインの曲ばかりだった」と自身とスペイン音楽との出会いが幼少期にあったことに思い至つた。無意識下の原風景に「なんでフラメンコなのか、メンコギターを強く必然性が、そこにもあつたのかって思えたのは、楽になつた

時は、今思えばスペインの曲ばかりだった」と繰り返しながらやつてきたから：フラメンコギターで、純粹に音楽の内側に居ながららっこで対話して時間がすごく長いだけ、その感じをコードで表現できただって今まであまりなくて。いつもすごい頑張つてやつてたから。今作ではそういう頑張りよりも、部屋で弾いてる時と変わらないぐらい自然な感じで、初回で大きな自然な感覚が混ざり込みますね：すごく大きかつたし、リスナーの耳で聞いてもらつてもなんとなく伝わるような気がしてます」。

し：余計な力が抜けた」のだと。私たち

は幸運にも今作で、彼のそんな繊細な心

のひだ、妙技の奥の聰明さにも触れるこ

とができる。

「僕は、自分の部屋で誰に聴かせるでもなくギターを弾いてる、自分とギターの間で対話してる時間がすごく長いだけ、その感じをコードで表現できただって今まであまりなくて。いつも

すごい頑張つてやつてたから。今作では

そういう頑張りよりも、部屋で弾いてる

時と変わらないぐらい自然な感じで、初

回で大きな自然な感覚が混ざり込みますね：すごく大きかつたし、リスナーの

耳で聞いてもらつてもなんとなく伝わる

ような気がしてます」。

「ハバナイが注目を浴びたのは、今年5月

Zepp DiverCityでのワンマン。なんとク

ラウドファンディング(約350万円)を成立させ、無料開催されたのだ。

そんなハバナイのライブとは一体どんな

ものなのか？それは、音源からは想像で

きない程のテンションと熱を持ち、フロア

ではモッシュが次々に起るようなライブ

なのだ。揺らめくシンセにリフレインが続

く楽曲たちを、観客は盛大にシンガロング

しながら自分の世界とハバナイの世界の垣

間にハマる。観客を縛らないスタイルであ

るがゆえに、フロアはさらに発狂し熱狂す

る。そして、そんな観客をハバナイは信じ

てるからこそ成立するこのライヴスタイル

なるほど、中毒者が増殖するわけだ。

11月からは全国5都市を巡るツアーダ

ンス「SPAIN JINOKI」が開催。ガ

ンガム歌えて踊れて熱狂できるつ

つもしかして最高なんじゃなか?

Homecomings

海の底のクジラの棲み家から届く歌たち。
——ホムカミが3rdアルバムで挑んだもの。

取材／文・山崎聰美

Homecomingsが3rd作目のフル・アルバム『WHALE LIVING』をリリース。ギター・ポップを起点に作品毎に多彩なタイムリーなサウンド改革を試みてきた彼らが今作で踏み切ったのは、以前から興味があったという日本語詞によるアルバム制作『SYMPHONY』(17年EP)という自分がやるうちに見えてきたこと。だつたら僕は、それをとっかかりに

Homecomings(ホームカミングス)

「12年結成の4ピース、京都出身。16年リリースの2ndアルバム『SALE OF BROKEN DREAMS』は国内外で高い評価を得、海外インディーロック勢との競演も多数。京都新聞のイメージキャラクターとしてCM楽曲提供、映画と音楽の融合イベント『New Neighbors』主宰など活動は多岐に渡る。今は古き如きフィルムのブリーフィングやストリングスの譜面に音楽への祝福が満ちるエピロー的な『Whale Living』、全ての物語を繋ぎ受け止めるエンドロール『Songbirds』等シネマティックな構成に、くるりの『東京』を慰める描写が目覚ましい『Parks』やヨーランゲの最新作『There's a Riot Going On』に刺激されたというポストロック的なインスト『Corridor』等聴き所満載。



PICK UP!

Have a Nice Day!

通称ハバナイ。バンドは現在、ヴォーカルの浅見北斗を中心、ドラム、ギター、シンセの4人体制。楽曲はいわゆるティーズパンクで、シンセやギラギラを駆け工レクトロ・サウンド。リフレインなシャウト×けだるさなヴォーカル。メロウなシングルで、シニカル。メロウなシングルで、シニカル。

トメダラだらうなヴォーカル。メロウなシングルで、シニカル。メロウなシングルで、シニカル。

か混沌なのか。その相対するものが共生するバランスにアングラ感が混ざり込み特有の香りを放つている印象だ。

ハバナイの最新曲『わたしを離さないで』のMVは、10代に絶大な人気を誇るSeventeen専属モデル「横田真悠」と安室奈美恵やMONDO GROSSO×島嶼ひかりのMVも手掛けた映像ディレクター「丸山健志」がタッグを組み制作された。今までの

楽曲に比べると、透明感があり爽やかで、かなりメロディアスで切なさも漂つ。アン

グラ感よりもメロジー感が強められている。コアなファンだけではなく幅広く知

つてもらえるだろう1曲に仕上がっている。

11月からは全国5都市を巡るツアーダ

ンス「SPAIN JINOKI」が開催。ガ

ンガム歌えて踊れて熱狂できるつ

つもしかして最高なんじゃなか?

11月からは全国5都市を巡るツアーダ

ンス「SPAIN

Column

コラム

アーティストと編集部のなにげな話。

ビーボイスは毎月**1**日に発行です

年末を締めくくる屋内型ロックフェスが
九州福岡にて開催!



12月25日[火], 26日[水]
福岡国際センター

12:00open / 13:00start

単日券▶ ROCK! 6,900円(税別) = 7,452円(税込)

2日通し券▶ 13,000円(税別) = 14,040円(税込)

*2日通し券はお1人様に限り有効

*中学生以上有料・小学生以下入場無料(要保護者同伴)

*出演者の変更、キャンセルに伴う払い戻しはございません。

[LINE UP]

ACIDMAN / GLIM SPANKY
ゲスの極み乙女。/ go!go!vanillas
酸欠少女さゆり / SPECIAL OTHERS
夜の本気ダンス
and more...



≪ オフィシャルHP先行受付中! ≫
<http://www.bea-net.com/mj2018/>
MUSIC JUNCTION 検索

BEA公式アカウントも要check!

Twitter [@beafx](#)
facebook [@BigEarAnts](#)



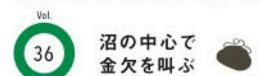
▲隊長はいかなる時も
すかさずカメラ(スマホ)を
かざしていました。



▲カメラ隊長
編集部Mさんの一枚。

文: なかしまさおり
ある偏愛の、彼方から。

メインストリームからアングラまで、各種メディアや実際の街
を造り出す中で見つけた、さまざま「偏愛」対象を紹介します。



なかしまさおり◆copywriter/music relater/green consumer。
高嶋モモを中心とした、強く書く、そして考える僕。担当してあります。
「沼」の偏り方に、「いぶんな」と「きつい」があるのです。自ら進んで落ちる人、
人に勧められて落ちる人、沼とは知らずに落とされる人、次第に掛けられなくなっている人、集団で掛けられてしまふ人の「沼」。最後の「沼」
はカルト宗教への勧説などは特にないけれど、「沼」は、辛せな状況でい
いのですが、ハマりますて身を滅ぼすよう皆様もどうお気をつけて。

水もないのにハマる“沼”。例えばアニメや漫画、声優、アイドル、さらには歌舞伎から宝塚、ゲームアプリに食べ物まで! 何かに熱中したり、没頭したり、その対象を好き過ぎるあまり自分が持つ得る貴重な時間やお金を費やすってしまうほどの状態に陥ることを言うのだそう。もともとは貧乏な家庭ゆえ、大した小遣いなど子どもたちには渡しておりませんので、その後、様々な情報網、ツールを駆使して“沼”の奥へ奥へと身を投じていたのでございます。でいうか、なんでその沼!…というのも本来、アニメ・声優・歌い手沼にどっぷりの2人。でしたが、ある日突然、本当に突然!! 下の子が某J事務所の4人組の一人が主演して下さい。では、また来月!

の“沼る”、“沼った”が使われ出しているとのこと。へ~、ということは私にとっての“偏愛”も深い沼みたいなものかな…と思っていたところ、いつの間にやら我が家でも、某沼による液状化現象が起きました!!といつても、もともと貧乏な家庭ゆえ、大した小遣いなど子どもたちには渡しておりませんので、その後、様々な情報網、ツールを駆使して“沼”の奥へ奥へと身を投じていたのでございます。でいうか、なんでその沼!…というのも本来、アニメ・声優・歌い手沼にどっぷりの2人。でしたが、ある日突然、本当に突然!! 下の子が某J事務所の4人組の一人が主演して下さい。では、また来月!

いたTVドラマにハマり、流れで上の子も引きずり込まれ、次第に4人組そのものにハマっていきました。過去音源や過去番組、あらゆる情報をねほりん、はほりん。今ではグループ公式のゲームアプリまで駆使して妄想中♪&ドラマ主演の彼の著作を1冊ずつ入手し読み込むまでに成長しています。つい最近までは“Nタバ”なんて、しかめ面して断固拒否だったのに…やれやれ(=ω=);…人って変われば変わるもんなんですね。さて、そんな危険かつ至福の“沼”。皆さんハマったことがありますか? 良かったら今度、教えて下さい。では、また来月!



福岡ソフトバンクホークス公式ファンクラブ
2019年度 クラブホークス 入会受付中!

オススメ
スタンダード会員

年会費 3,780円(税込)

中学生以下
ジュニア会員

年会費 2,538円(税込)

ハイグレード会員も
ございます

他にもおトクな特典いろいろ!(全会員共通)

★チケット先行・割引販売

★ダグアウト5%割引

★ファンクラブ会報誌「Fan!Fun! HAWKS」

★練習見学入場など

選べる
入会
グッズ

レプリカユニフォーム

キャンバス
トートバッグ

バスタオル

おきあがり
ごふさん

QRコード

スマートフォン・PCからカンタン入会

会員サポート TEL.092-844-1189

10:00~17:00 (日曜・年末年始は休業)

検索

<http://softbankhawks.co.jp/>

お問い合わせ

会員サポート センター

TEL.092-844-1189 10:00~17:00 (日曜・年末年始は休業)

一部のIP電話では、つながらない場合がございます。ご了承下さい。



ファンフェスティバル2018
1年間の応援に感謝を込めて
様々なイベントで盛り上げます!

11月25日(日)
開場: 12:00
スタート: 13:00
福岡 フォアドーム

会員

300円(税込)

一般 1,000円(税込)

TOKO FURUUCHI
After The Rain

古内東子
After The Rain

デビュー25周年を迎えた“恋愛の神様”古内東子の真骨頂。ならぬ恋…叶わぬ思い…そんな女性の様々な恋のカタチを書き下ろした古内流AOE。アレンジャー陣にはインゴニト等が参画。上質な大人の恋愛アルバムが完成。(本誌編集部)

NEW DISC

2018.10~11



毎月、お題に沿っていろんなものをpick up!
普段知ることのない、あの人のあんな部分やこんな部分も見えてくる!
もしもしたら、あなたの意外な共通点がみつかるかも…?

編集部 K	編集部 M	編集部 E	BEAスタッフH
面白い と思う 曲タイトル の 雲	君たちをイバババマングーだね。 改めてやけど昔の歌の曲のタイトル 云々	GOIGOI7188 くつしたの穴へしきちゃんと割ったのに~ わかる~	MEN'S S 「へーコキましたね」 これ以上の衝撃を受けた曲に出会つ てないかも。
好きな 冬の 食べ物 の 雪	Buccch 「パッカス」 何年も前からハマってる冬限定チョ コは毎日ベースで購入。	鍋全般 「白子」 どっぷりポン酢につけて、ネギたっぷ りでお願いします。	「te」 ただ黙って「te」のdiscographyページ を見てほしい。

DVD & Blu-ray



STARDUST REVUE

STARDUST REVUE 楽園音楽祭 2017
還暦スペシャル in 大阪城音楽堂

昨年秋に大阪城音楽堂で行われた、根本要(Vo,Gt)と柿沼清史(Ba,Vo)の還暦記念公演の模様を収めた映像作品。約3時間に及ぶライヴより「木蘭の涙」「今夜だけきっと」など全24曲を完全収録!(本誌編集部)

Album



絢香

30 y/o

30歳の節目を迎えた絢香。「たった1度きりの人生。私は堂々と30歳であることを、自分が選択してきたことを誇らしく生きたい」。そんな思いから「時間」と「変化」をコンセプトに制作。三浦大知とのコラボ曲や話題のタイアップ曲など全12曲収録。(本誌編集部)

Album



降谷建志

THE PENDULUM

"make a move"の合図と共に始まる世界。振り子のように行き来する日々の出来事、感情の起伏の中で、より多くの仲間と鳴らす"ことを望んだ全12曲。LIVEアンコール鉄板の"あの曲"が飾るラストも嬉しい演出!(なかしまさおり)

10inch



never young beach
うつらない / 歩いてみたら

情緒的な日本のDNAと洋楽の影響が入り混じる独特のサウンドセンスは、孤高の存在感。本質に立ち戻り、初回限定生産&アナログ盤のみのリリースも彼ららしい(DL販売なし)。11/22(木) DRUM LOGOSでライヴ!(前田圭礼)

Mini Album



ジェニー・ハイ

ジェニー・ハイ

小畠千豊、くつき(野性爆弾)、中島イッキユウ(tricot)、新垣隆、川谷絵音。いずれ劣らぬ"濃いキャラクター"たち。ブレイはもちろん、全員参加の自己紹介ラップなど、奔放かつ王道を極める絵音節が随所で炸裂したデビュー盤。(なかしまさおり)

Digital Single



みゅな

ガムシャラ

宮崎在住の女子高生シンガー。TVアニメ「ブラッククローバー」の10月期OPテーマに起用の本作は、16歳ならではの心の葛藤と衝動を純粋に表現した、疾走感溢れるロップナンバー。ネクストブレイク間違いなし!(本誌編集部)

お問い合わせ

会員サポート センター

TEL.092-844-1189 10:00~17:00 (日曜・年末年始は休業)

一部のIP電話では、つながらない場合がございます。ご了承下さい。

10